

かがやき

題字／旭岡聖順

第28号

令和4年(2022)9月1日

(公財)佐野市民文化振興事業団
〒327-0003
栃木県佐野市大橋町2047
(佐野市郷土博物館内)
電話 0283-55-5666
<https://kagayaki.sanocity.jp/>
E-Mail:bunka@sctv.jp



4Waysのみなさん

令和3年11月13日、木々が色づき始めた唐沢山城跡二の丸で、さわやかな秋晴れのもとフォークソンググループ4Waysの野外コンサートが開かれました。コロナ禍により行動が制限され閉そく感を感じるなかで、神楽殿の前に人々が集い、音楽を楽しむ時間は特別なものとなりました。



主な記事

- 理事長あいさつ、評議員・役員等一覧、貸借対照表 1
- 令和3年度事業報告 2
- 特集：佐野市民文化振興事業団ってどんなところ？
事業団のあゆみ、事業団の目的 3



唐沢山城跡二の丸での当日の様子

- 公益財団化10周年記念行事、出演者コラム 4,5
- 事業団活動レポート、友の会案内 6
- イベント募集のご案内 7
- 令和5年度芸術・文化活動助成事業募集 7

理事長あいさつ



公益財団法人
佐野市民文化振興事業団
理事長 佐野 正行

公益化十周年、そしてこれから

コロナウイルスの世界的パンデミックも三年目に入り不安な日々が続く中、さらに、今年になってロシアがウクライナへ軍事侵攻する世界史に刻まれるような大事件が勃発し、平和で穏やかな生活がいかに尊いかを深くかみしめています。この時期、多くの文化事業が中止に追い込まれました。人が生きていく上において、文化的営みの重要性をかんがみ、気を引き締めなければならぬと思います。

このような時世ではありますが、本事業団では、予てより懸案でありました事務局の独立を昨年の四月一日に果たし、取り組み可能な事業の拡大についても行政庁から認定を受けることができました。

本事業団は、これまで実施する事業が細かく規定されていました。そのため、公益法人に移行して十年目を迎えるにあたり、これまでの内容を検証し、時代に即した多彩な事業展開が可能となるよう領域の拡大

を図りました。

基金の運用につきましては、安全性第一で運用してまいりましたが、長引く日銀の超低金利政策などにより、地方債や定期預金で運用を継続した場合、事業の実施に必要な運用益が近いうちにほぼ見込めない状況に陥ることが予想されました。そのため、新たに設置した「資金管理運用委員会」で議論し、資金運用の在り方にについて指針をまとめました。

令和四年度は、佐野市との連携を深めつつ、これまでの事業に加え、市からの受託などにより「文化財の調査・整備・活用事業」も進めてまいります。本市の宝である貴重な歴史遺産を次の世代に伝えていく取り組みです。

また、本年度は、「事業団友の会」を発足し、十周年記念事業などを中心に活動を行い、市民の方々に事業団が進める文化事業に関わっていただく機会を設けてまいります。新鮮な視点で企画や運営に携わっていただき、風通しのよいサークルに育てていただければと思います。

今後も、方向性を違えることなく、皆様の自主的な芸術・文化活動についてご支援を行い、文化的環境の醸成を図り、潤いと活力のあるまちづくりに細やかなりとも貢献できればと願っております。

微力ではありますが、因習に囚われるごとなく、時代に即した事業団改革を進めてまいる所存ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【貸借対照表】(令和4年3月31日現在の資産状況 単価：円)

科目	金額
I 資産の部	
1.流動資産	2,778,756
2.固定資産	
(1) 基本財産	503,661,094
(2) 特定資産	413,593,726
(3) その他固定資産	20,010,001
固定資産合計	937,264,821
資産合計	940,043,577
II 負債の部	
1.流動負債	57,509
負債合計	57,509
III 正味財産の部	
1.指定正味財産	900,254,820
(うち基本財産への充当額)	503,661,094
(うち特定資産への充当額)	396,593,726
2.一般正味財産	39,731,248
(うち基本財産への充当額)	0
(うち特定資産への充当額)	17,000,000
正味財産合計	939,986,068
負債及び正味財産合計	940,043,577

評議員	島田嘉内	片柳展代
監事	島田恒男	佐藤三武朗
事務局長	白澤幸治	金子裕
(顧問)	旭岡靖人	佐野正行
(理事長)	菊池宏行	佐野正行
(専務理事)	三好仁	加藤栄作
〔順不同〕	川久保紀久子	
出居博	小林貴代	
成瀬正彦		

評議員・役員等一覧

事業検討委員

小林貴代
岩船哲也
浅田有里佳
川田夏実
三好仁



令和4年度定期評議員会風景

令和3年度 事業報告

① 芸術・文化鑑賞事業

① 秋のさわやかコンサート

内 容：身近な場所で気軽に音楽を楽しめる野外コンサートを開催
期 日：令和3年11月13日（土）
場 所：唐沢山城跡二の丸（国指定史跡・県立自然公園）
出 演：4Ways（フォークソンググループ）

来場者：260人
→当日の様子を表紙に掲載

② 伝統芸能公演オンライン配信

内 容：貴重な栃木県指定無形民俗文化財である牧歌舞伎を事業団ホームページで公開

① 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー



内 容：佐野の歴史や文化の奥深さを知る専門講座
テーマ：見る・知る・わかる仏像の世界
期 日：1回目 令和4年1月16日（日）
2回目 4月17日（日）
3回目 4月24日（日）
※2,3回目はコロナ禍により延期して実施
場 所：郷土博物館講座室
講 師：大澤 慶子さん（文星芸術大学教授）
参加者：26人

事業団報「かがやき」27号の発行

発行日：令和3年9月1日
配 布：市内全戸及び市内各施設等 46,000部

② 文化関連団体事業への後援

4団体延べ4事業

～コロナ禍により中止となった事業～

○文化講演会

～該当する応募のなかった事業～

○地域の芸術・文化振興活動事業育成助成金

○地域伝統文化保存育成事業活動助成金

② 美術館・歴史資料展示及び企画展共催事業

① 郷土博物館企画展共催事業

郷土博物館と連携し、学芸員の協力を得て、パンフレットの作成や記念講演会を共催
・春の企画展「朝日森天満宮」

内 容：解説パンフレットの作成 500部
期 間：令和3年4月24日（土）
～6月20日（日）

・秋の企画展「中根東里展」

内 容：記念講演会の開催
演 題：「中根東里と芳子と佐野と」
期 日：令和3年10月16日（土）
場 所：総合福祉センター会議室
講 師：塩村 耕さん（名古屋大学教授）
参加者：61人

② 美術館企画展共催事業

佐野市立吉澤記念美術館と連携し、学芸員の協力を得て、一般の方や小・中学生向け解説パンフレットを作成
・特別企画展「王欽古」

内 容：ジュニアガイドの作成 10,000部
期間：令和4年3月19日（土）
～5月 8日（日）

王欽古
ジュニアガイドは
5,435部を市内の
小・中学生へ
配布しました。



③ 美術品・歴史資料オンライン配信

内 容：地域の博物館や美術館所蔵の美術作品や歴史資料を事業団ホームページページとリンクして公開

「佐野市の歴史やこれまでの暮らしに学び、新たな文化の創造に向けて踏み出そう」という想いを掲げ、令和3年10月から、全4回にわたって開催されました。受講者は、文化や歴史などに興味を持って集まった19人。テーマ毎に3グループに分かれ、それぞれグループワークを進めました。

— 受講生の声 —



文化活動人材育成セミナー

・埋もれていた歴史や逸話を発掘することが出来ました。

・現地探訪で話を聞く中で、初めて知ったことがたくさんありました。

・実際に自分の足で歩くことで、車では見過ごしてしまうことをたくさん知ることが出来ました。これからも佐野の埋もれてしまっている魅力に注目ていきたいです。



内 容：受講者がテーマを掘り下げ、佐野の歴史や文化の奥深さを知り、文化活動を自主的に企画運営していく仲間づくりを中心とした入門講座

期 日：1回目 令和3年10月30日（土）
2回目 11月27日（土）
3回目 令和4年 1月15日（土）
4回目 4月16日（土）

※4回目はコロナ禍により延期して実施

場 所：郷土博物館、他

講 師：西村 美東士さん（若者文化研究所代表・日本大学非常勤講師・佐野市生涯学習推進アドバイザー）

参加者：19人

→グループワークのレポートを6ページに掲載

事業団のあゆみ

事業団が平成6(1994)年3月8日に設立してから28年、公益財団法人に移行してから令和4年4月1日で10年が経ちました。その歴史を振り返ります。

★事業団の誕生から~

年度	主な出来事など
H5	H6.3.8事業団設立 初代理事長に菊池登氏就任 ・設立目的の事業として次の事業を掲げ、スタート *芸術、文化活動の振興に関する事業 *芸術品、文化財等の収集保護に関する事業 *歴史的環境の保護に関する事業 *文化的環境の整備促進及び文化施設の管理運営に関する事業
H6	設立目的達成に向け、佐野市文化振興事業募金委員会を設置
H7	理事長に旭岡聖順氏就任
H9	「演劇鑑賞教室」事業開始（国立劇場などで演劇鑑賞）
H11	事業団シンボルマーク決定（表紙タイトル左）
H13	・文化団体への「助成事業」開始(後に公2事業へ) ・事業団ホームページ開設
H16	特別開催事業 県立美術館館外展等で作品展開催
H20	理事長に太田哲夫氏就任
H23	・公益財団法人への移行に向けて、事業の形態を「演劇鑑賞事業」「企画展共同開催事業」「芸術・文化活動助成事業」として整備し、「子ども演劇サマースクール」「舞台裏方講座」「アートマネジメント講座」を追加

★公益財団法人に移行してから~

年度	主な出来事など
H24	4月より公益財団法人として新たにスタート
H26	事業団20周年及び佐野市役所新庁舎建設を記念して、美術品寄託の目録を佐野市長に贈呈 ・新庁舎前に、地元在住の芸術家である吉本義人氏のモニュメントを設置 ・「わいわいギャラリー」を事業に追加
H29	・「壁画アートプロジェクト」事業開始 ・「モニュメント活用事業」（ダンスなど）開催
H30	理事長に佐野正行氏就任 ・「モニュメント活用事業」（ロックなど）開催
R3	・公益目的事業を見直し、「芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座」（公1）に変更して事業領域を拡大 ・事務所を佐野市役所から大橋町に移転し、新体制で事務局の運営を開始
R4	公益財団法人化10周年 ・「文化財の調査、設備、活用事業」（公3）を追加

※公1～公3事業とは、公益目的事業として栃木県から認められた分野です。

平成6～21年度までの寄附実績

個人		法人・団体等		合計	
件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
11,707	134,570,400	2,116	258,985,600	13,823	393,556,000

※寄附金のほか、市からの出捐金(平成5～14年度)が5億円



事業団の目的

この事業団は、市民の芸術・文化活動の振興を図り、すべての市民が優れた文化的環境のもと、潤いと活力のある生活を営める地域社会の創造に寄与することを目的としている団体です。



市役所前に設置した巨大なモニュメント
アートの街づくりも進めています！

●オープニングコンサート

ゆかりの音楽家たちによる演奏が華を添えます。

ヴァイオリン
ヴァイオリン
チェロ
ピアノ

神山みどりさん
手塚 由美さん
佐野 朋子さん
細田 秀一さん

演奏者



ヴァイオリン
手塚 由美さん
宇都宮短期大学
付属高校音楽科
卒業、武蔵野音
楽大学卒業



ピアノ
細田 秀一さん
東京藝術大学卒業、
同大学院修士課程
修了。ドイツへ留
学してベルリン国
立芸術大学を卒業



チェロ
佐野 朋子さん
足利女子高校を
経て東京音楽大
学チェロ科卒業、
同大学院修士課程修了

※神山さんのプロフィールは5ページ

**参加者
募集!**

【午前の部】
スタンウェイ体験
みんなのコンサート
(大ホール)

観覧自由♪

お気軽にお立ち寄りください!

12組出演予定 (詳しくは7ページ参照)

入場無料

事前の申し込みは
不要です!

公益財團化 10周年記念行事

令和4年12月3日(土)

会場：佐野市文化会館大ホール

午後の部 開場 12:30～ 開演 13:00～

●当日プログラム

<午前の部>

9:30～11:40 スタンウェイ体験
みんなのコンサート

<午後の部>

- 13:00～オープニングコンサート
- 14:00～開会・記念文化講演会
- 15:50～短編映画上映

●記念文化講演会

演題

「ポーランドに生きて、日本を想う」

講演 中谷 剛さん

(ポーランド在住・アウシュヴィツ博物館ガイド)

ヨーロッパで重い歴史を伝える仕事をしている中谷さん。今、ロシアのウクライナ侵攻により大きく揺れている世界の様子を間近で感じている立場だからこそ、皆さんに伝えたいメッセージや想いがあります。

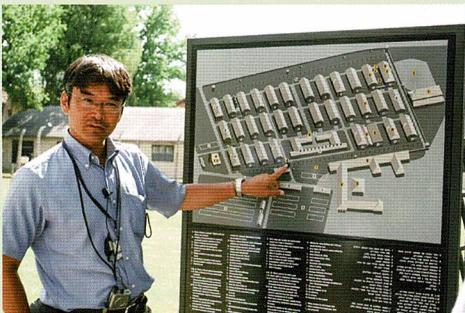
●短編映画上映

田中晴菜監督の最新短編映画
『幸福な装置』を特別に先行上映。
(プロフィールは5ページ)
※上映作品が変更になる場合あり

<天明録物紹介>

ホワイエにおいて、映画で用いられた正田忠雄さん製作の天明録物を展示し、その製作課程の映像も併せて公開します。映画のために手掛けた唯一の作品です。

»記念講演講師



アウシュヴィツ博物館でガイドをする中谷さん

**ポーランドから
佐野のみなさまへ**

中谷 剛

「明日は9月1日だね。悪いことが起きなければよいが……」

1983年、佐高3年生だった私は夏休みの補習授業で担任の長谷川和男（故人）先生から聞いた話が気になっていました。先生は関東大震災（1923年）やドイツのポーランド侵攻による第二次世界大戦（1939年）が9月1日に起きたことを教えてくれました。そして翌日、私は大韓航空の旅客機がソビエト連邦（現ロシア）の戦闘機にサハリンの上空で撃墜されて乗員・乗客が全員死亡というニュースを見て、衝撃を受けたのです。この経験が学生時代の旅の目的になりました。

私が選んだ国はポーランドでした。そこでは彼らが勝ち取った「自由と民主主義」の尊さを学ぶことができました。第一次世界大戦中にドイツがつくったアウシュヴィツ強制収容所がポーランドにあり、私はユダヤ人たちが殺されたホロコーストの歴史を伝える仕事につきました。年に3万人ほど訪れる日本人の観光客に歴史継承の難しさやその意義をヨーロッパの事例として伝えています。

プロフィール
中谷 剛（なかたに たけし）

1984年栃木県立佐野高等学校卒業。アウシュヴィツ博物館ガイド。著書に『ホロコーストを次世代に伝える』（2007年、岩波ブックレット）、訳書に『アウシュヴィツビルケナウ』あなたの立っているところ（アウシュヴィツ博物館）などがある。

映画を 「作り」「届ける」と

田中 晴菜

» 映画上映監督



右端手前が田中監督

佐野市で生まれ育った私は、小学生の頃文化会館で「トイ・ストーリー」と「ジュマンジ」（は怖くて途中でりタイアしました）を観た事を思い出します。その頃は市内に映画館が無い時期でした。今は誰でもスマホで撮って発信出来る時代です。でも私にとって、一緒に映画を作る仲間がいることが、制作を続ける原動力になっています。

映画が観る人の元に届くまで、多くの過程があります。企画・脚本を練り、資金を用意し、キャストやスタッフを集め、撮影地を探し、交渉し、美術や衣装を揃えます（アリプロと言います）。撮影後は、映像や音を編集します。これらは、映画上映監督の仕事です。映画好きの中でも、短編映画を見る方は日本では少数派だと思います。都市の劇場以外にも、ネット配信や地方映画祭など、身近で作品に触れる機会は増えてきています。今後も地元での制作を続けたい、多くの方に作品を届けたいと思っておりますので、ご興味を持って頂いた方は、ぜひ応援して頂けたら嬉しいです。

プロフィール
田中 晴菜（たなか はるな）

製作、脚本、監督、編集を務めた『ぬけがい』は第38回トリノ映画祭国際短編部門公式招待、「MIRRORLAR FILMS plus」が各地映画館にて上映中、あいち国際女性映画祭短編部門グランプリ等の『いきうつし』と共に昨年劇場公開された。

私とヴァイオリン

神山 みどり

» オープニングコンサート出演者



プロフィール
神山 みどり（かみやま）

私は3歳のころからヴァイオリンを習い始めました。教育熱心な母の勧めだったので、何故この楽器を始めたのか聞いたところ、ピアノを弾くには3歳の手では小さ過ぎたからとのこと。ともあれ、いつしかヴァイオリンを奏ることは生活の一部となっていました。ときどき私の首にペンドリノを奏でることは生活の一部となっていました。少しばかり痛いのですが、ヴァイオリニストは日々練習をしないと音色もテクニックも落ちてしまうものなので、ある意味で勲章といえるかも知れません。

ボランティア

スタッフ募集！

事業団の活動を支援していただける方を募集しています。

10周年記念行事やその他の企画と一緒に楽しみませんか？

お問い合わせは
事務局まで

A班

『おもいをつないだ越名沼の渡し舟』(創作民話づくり)

テーマを話し合いながら、民話づくりにチャレンジしました。

かつて越名沼にあった渡し舟「永代接待船(えいたいせつたいぶね)」について、現地に行ってゆかりのある場所を歩き、石碑の文字を追いかながら、船頭夫婦の物語として『おもいをつないだ越名沼の渡し舟』という民話を新たに創作しました。



創作民話の発表



心うたれる物語

報告会当日は、メンバーの方が語りを披露され、想いを込めた作品の世界にみな引き込まれました。

西浦町でのフィールドワーク

C班

佐野城跡・高低差・藤原秀郷に関わる寺社めぐり

佐野城(現城山公園)のこと興味を持ち、現地のお城跡の様子を見つけたいと話題が膨らみました。「城山公園の周りのお堀や高低差について調べ、歩きたい。」「藤原秀郷にちなんだ寺社を巡りたい。」という希望から班メンバーで現地へ。

古地図を参考に、佐野城の外堀跡やその周辺の道路を散策しました。テレビ番組のブラタモリのように、楽しみながら発見の旅へ。



地図を作りました!

明治時代の古地図を前に

お城の犬走り跡、西の堀跡、大手道跡、大正通り、池の跡、神社やお寺など、城山をぐるっと巡りました。そして、その様子をマップにまとめました。



ホームページリニューアルしました

- お知らせ、イベント紹介
- 動画のページ
- 周辺の文化施設の紹介
- 日々つづれづれ日記



ホームページQRコード

情報発信しています!

Twitterアカウント開設しました☆

文化や芸術に関する情報がもりだくさん!ちょっとしたおまけのページも…

フォローしてね!



Twitter QRコード

事業団活動レポート

R3.10/30～
講座4回+
フィールドワークR3文化活動
人材育成セミナー

佐野の文化や歴史などに目を向け、セミナーに集う人たちが意見交換を行い、テーマを決めて活動する新しいスタイルのセミナーを開催しました。3つの班の様子を紹介します。

B班

旗川地区・水との生活

かつて子どものころ親しんだ風景に小川があり、その歴史を知りたいという想いからこのテーマに。地域の様子を知っている人に話を聞きに行ったり、メンバーで地域を探訪したり、本を調べたり。その川は通称「上道川」で、正しくは「並木用水」でした。

・秋山川と旗川にはさまれた吉水や小見の南部や小中町に多くのわき水があり、菊沢川や才川の水源になっている。



川との歴史

才川の水源「三角沼」

小見地区にある記念碑
「安蘇の渓野」

- ・小川は洗濯や野菜洗いをしながらの社交の場になっていた。
- ・魚やエビなど、生き物が生息し、かつて子どもたちが魚とりや水遊びをした。
- ・土地改良がされ、並木用水は3か所の地下水ポンプとなった
- ・しかし渇水や水害に遭った歴史もあった。

友の会案内

今年度発足!

文化に関することを楽しみたい…
一緒にグループ活動をしたい…
という方はこちら! ▶

事業団が進めるコンサートなどの文化事業に参画したりイベントを企画運営するグループ「S・C フラワーズ」



皆さん自身の興味関心をもとに佐野の文化を探求するグループ「be 文活フレンズ」

こんな2つのグループが活動しています。

ぜひ一緒に活動しませんか?
お問い合わせは事務局まで (TEL 0283-55-5666)

イベント 募集のご案内

お問合せ
申し込み

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町2047(佐野市郷土博物館内)

TEL 0283-55-5666 FAX 0283-55-5699

HP <https://kagayaki.sanocity.jp/> E-mail:bunka@sctv.jp

HPは
こちらから



10周年
記念行事

あこがれのピアノ、スタンウェイ体験 みんなのコンサート

文化会館の大ホールでスタンウェイを奏でてみませんか



ご自宅や教室でピアノを楽しんでいる方、
日頃の練習の成果を披露してみませんか。
小学・中学・高校生から一般の方まで
みんなでつくるみんなのコンサートです。

日 時：12月3日(土) 開催時間 午前9時30分～11時40分
場 所：佐野市文化会館大ホール ※参加無料

演奏内容：演奏時間6分以内 曲数は自由

ピアノ独奏、連弾

対象者：佐野市内に在住、または佐野市内へ
通勤、通学している小学生以上の方

募集人数：12組

受付期間：9月12日(月)～9月20日(火)

申込方法：①事業団のHPのお問い合わせフォーム

②電話受付(平日午前9時～午後5時)

その際に氏名、住所、連絡先電話番号、年齢をお伝えください。

※定員に達した場合は抽選となります。当選した方のみ
9月末日までにご連絡します。当選した方には、曲名などを
記入する参加申込書を提出していただきます。

参加者
募集!

郷土博物館企画展共催事業

企画展

「古代三毳山周辺の生産遺跡と役所・寺院」
9月23日(金)～11月23日(水)



「靈光寺」銘瓦

<記念講演会>

9月24日(土) 午後2時～
岡山理科大学 名誉教授 亀田 修一さん

<関連講座>

10月29日(土) 午後1時30分～
「イドの沢窯跡の調査」
毛野考古学研究所 志村 哲さん
「三毳山周辺の生産遺跡」
日本考古学協会員 津野 仁さん

11月5日(土) 午後2時～
「下野大慈寺と三毳山麓窯跡群」
高野山大学大学院 池田 敏宏さん

パンフレット

を発行予定

佐野市郷土博物館 | 佐野市大橋町 2047
TEL 0283-22-5111

参加者
募集!

・文化振興
事業団

友の会

詳しくは6ページを
ご覧ください

編集後記

特集として事業団の目的や歴史を紹介しましたが、いかがでしたか。事業団を知るきっかけになることを願い記事をまとめました。これからも「文化の振興」のために、小さなことからコツと続けて行きたいと思っています。(荒川)

※応募方法
※所定の用紙で申請してください。尚、5万円の助成を受ける場合に限り、随時交付申請を受け付けています。
※募集資料様式を用意しています。事業団事務局までお問い合わせください。

◇応募期間
令和4年10月28日(金)まで
(事業費の2分の1以内)

◇助成金額
5万円から15万円

部活動などは対象外です。
なお、企業や学校のサークル、
部活動などは対象外です。

助成対象は活動の本拠が佐野市内にある団体で、事業を完遂できる見込みがあり、規約が整い経理が適切に行われている必要があります。

当事業団では、芸術・文化活動や地域の伝統文化の保存継承を支援します。地域の特色を活かし、個性豊かな文化を創造する事業や指定を受けた無形民俗文化財の担い手育成事業が対象になります。

令和5年度
芸術・文化活動
助成事業募集

*イベント、講座などは新型コロナウイルス等の影響により変更・中止の場合があります。その際は、ホームページ等でお知らせします。

美術館・博物館 コンサート

～特別な空間で音楽を楽しんでみませんか～

秋のプログラム

at 佐野東石美術館



フルート
小山 花波さん

フルート&ピアノコンサート

日 時：9月25日(日) 開場 午後1時30分～

開演 午後2時

場 所：佐野東石美術館 3階展示室

定 員：30名

入場料：お一人500円 ※当日受付にて支払

申込方法：9月5日(月)より電話受付

※定員になり次第受付終了



ピアノ
須藤 ちひろさん

【当日演奏曲(予定)】

エルガー作曲 愛の挨拶

ビゼー作曲 アルルの女よりメヌエット

成田為三作曲 浜辺の歌

中島みゆき作曲 糸、他

【演奏者プロフィール】

小山花波さん：佐野市出身。洗足学園音楽大学、日本大学大学院芸術学研究科卒業

須藤ちひろさん：佐野市出身。白鶴大学足利高校音楽科卒業。武蔵野音楽大学器楽学科卒業

新春プログラム

at 佐野市郷土博物館



ソプラノ
茂木 美樹さん



ピアノ
大和田 亜沙美さん

ソプラノ&ピアノコンサート

日 時：令和5年1月28日(土)

開場 午後1時30分～

開演 午後2時

場 所：佐野市郷土博物館 1階展示ホール

定 員：30名

入場料：無料

申込方法：12月8日(木)より電話受付

※定員になり次第受付終了

【当日演奏曲】後日HPにてお知らせします。

【演奏者プロフィール】

茂木美樹さん：佐野市出身。東京藝術大学声楽科卒。同大学大学院修了

大和田亜沙美さん：小山市出身。東京音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業